

高野町の目指す小中一貫教育

高野町立高野山小学校・中学校一貫教育推進委員会

一人ひとりが大切にされる教育を推進し、生きる力の育成を図ります

学校では、社会の急速な変化や子どもたちの心身の発達状況の変化に教育内容や方法を的確に対応させながら教育活動を進めていくことが求められています。こうした観点から、高野町では、小学校と中学校での学び・育ちを連続性のある義務教育9年間で捉え直し、子どもたち一人ひとりを大切にしながら特色ある教育活動を進めていくため、小中一貫教育を推進します。そして、1200年の歴史あるふるさと高野町に生まれ育ったことを誇りに思い、自分を大切に、多くの人に感謝する心をもつ子どもたちを育てます。

- ① 自ら学ぶ意欲と、自ら考える力を育成します。
- ② 宗教都市として培ってきた歴史と伝統・文化を尊重し、それらを育ててきた郷土を愛する心を育てます。
- ③ 豊かな心と社会性を育てます。
- ④ 社会の変化を把握し、新しい課題にも向き合うたくましい力を鍛えます。

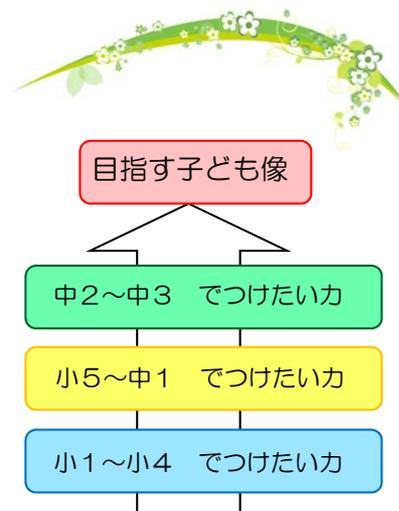
【高野町】小中一貫教育の4つの視点

視点

1

施設一体型の小中一貫教育

- 小中学校の校舎を同一の敷地内に施設一体型とし、小中学校で『目指す子ども像』を共有して教育活動に取り組みます。
- 子どもたちの発達段階を考慮し、4・3・2制の区分（一例）による教育活動を実践します。
- 発達段階に応じて、3つの教育区分で「つきたい力」を明確にし、小中の9年間を通して『生きる力』を育成します。



教育区分	基礎定着期【4年】				連携活用期【3年】		充実発展期【2年】		
学校区分	小学校						中学校		
学年区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1年	中2年	中3年
学習指導	学級担任制						教科担任制		
学習指導の目標	学習習慣（学び方の習得）を定着させるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。				小中学校教職員の密接な連携により、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力等を養う。		これまで学んだ学習内容や学習方法等を充実・発展させ、希望する進路実現のため、自ら学ぶ力を身につける。		

生きる力：知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健康、体力）のバランスのとれた力

視点 2

教育課程・指導形態の工夫・改善

- 小学校⇒中学校の指導内容の連続性を意識したカリキュラムの編成や指導方法を統一します。
- 9年間を見通した「道徳指導計画」を作成し、系統的・発展的な指導をおこなうとともに体験活動を充実し、豊かな心と社会性を育てます。
- 小学1年生から英語に親しむ機会を確保し、小中学校9年間で英語によるコミュニケーション能力を高めます。(例) 英語による観光案内等
- 中学校教員による小学校での授業の実施や小中合同による授業研究等により、9年間を見通した学習指導を充実します。
- 学習に向かう姿勢・態度や学び方など、高野山小中学校スタンダードを1年生から9年間積み重ねることで、『主体的に学ぶ力』を育てます。
- 授業改善・少人数指導及び補充学習の時間の確保により、子どもたちに「わかる」実感をもたせま

聞き方

- 背すじをのばして聞こう。
- 話す人の顔を見て聞こう。
- だまって終わりまで聞こう。
- もっと詳しく知りたいことはないか考えながら聞こう。

聞き方スタンダード(一例)

視点 3

教育活動の連続性と小中教職員の連携・協働

- 校長のリーダーシップのもと、小中学校合同の連携部会(仮称)を設置し、小中一貫した指導方法や行事等の企画・立案及びその実現に向けた具体的な取組を行うとともにPDCAサイクルにより不断の見直しを行います。

PDCA: Plan(目標設定)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)

【一例】小中合同体育祭・小中合同文化祭・小中合同学習発表会・小中合同一汗運動
小中合同防災訓練(引き渡し演習)・小中合同挨拶運動 等

- 研究授業や公開授業をとおして、小中の教員が互いの授業を参観し、授業力を高め合います。
- 生活指導の情報などを小中教職員で共有し、子どもたちに寄り添い、一人ひとりを大切に励ましや適切な指導を行います。

視点 4

地域とともにある学校(家庭・地域との連携・協力)

- 家庭・地域に向けて、学校の教育方針・内容を発信
- 学校施設を地域に積極的に開放
- 家庭・地域を巻き込んだ学習活動の展開
- 学校応援団として児童生徒の学習活動・体験活動等を支援
- 登下校時等の児童生徒の見守り・活動支援
- 早寝・早起き・朝ごはん等基本的な生活習慣の定着
- 児童生徒の活動・PTA活動への積極的な参加
- 地域での活動に親子で積極的に参加 等

- 小中一貫の取組について、児童生徒や保護者・地域に学校評価アンケートを実施し、常に点検・改善を推進します。
- 家庭との連携を密にし、家庭学習や家読を推進します。
- 地域の行事に積極的に参加し、地域に貢献するとともに、地域の人人との交流を深めます。

家読: 家庭における読書運動